



機能、テンプレート、サービス、 およびユーザの設定

Cisco Unified IP Phone をネットワークに設置し、ネットワーク設定値を設定し、それを Cisco Unified CallManager に追加した後は、Cisco Unified CallManager の管理アプリケーションを使用して、テレフォニー機能の設定、電話テンプレートの修正（オプション）、サービスの設定、およびユーザの割り当てを行う必要があります。

この章では、これらの設定手順の概要を説明します。手順の詳細な説明については、Cisco Unified CallManager のマニュアルを参照してください。

ユーザへの情報の提供方法、および提供すべき情報の種類については、[付録 A 「Web サイトによるユーザへの情報提供」](#) を参照してください。

英語以外の環境に電話機を設定する方法については、[付録 B 「各言語ユーザのサポート」](#) を参照してください。

この章は、次の項目で構成されています。

- [Cisco Unified IP Phone](#) で使用可能なテレフォニー機能 (P.5-2)
- [社内ディレクトリとパーソナルディレクトリ](#) の設定 (P.5-17)
- [電話ボタンテンプレートの変更](#) (P.5-19)
- [ソフトキーテンプレート](#) の設定 (P.5-20)
- [サービス](#) の設定 (P.5-21)
- [Cisco Unified CallManager](#) へのユーザの追加 (P.5-22)
- [ユーザ オプション Web ページ](#) の管理 (P.5-23)

Cisco Unified IP Phone で使用可能なテレフォニー機能

Cisco Unified IP Phone を Cisco Unified CallManager に追加した後、その電話機に機能を追加することができます。表 5-1 は、サポート対象のテレフォニー機能のリストを示しています。これらの機能の多くは、Cisco Unified CallManager の管理ページを使用して設定できます。参照先の欄は、設定手順や関連情報が記載されている Cisco Unified CallManager およびその他のマニュアルを示しています。

電話機の機能の使用方法については、『Cisco Unified IP Phone 7961G/7961G-GE および7941G/7941G-GE 電話ガイド』を参照してください。電話機の機能の一覧については、『Cisco Unified IP Phone Features A – Z』を参照してください。



(注)

Cisco Unified CallManager の管理ページでは、各種テレフォニー機能の設定に使用できるいくつかのサービス パラメータも用意しています。サービス パラメータの詳細、およびサービス パラメータによって制御される機能の詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能

機能	説明	設定参照先
固定短縮ダイヤル	電話機のキーパッドに割り当てられたインデックス コード (1 ~ 99) を入力すると、短縮ダイヤルで電話をかけられます。 インデックス コードの割り当ては、ユーザ オプション Web ページで行います。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定参照先
自動応答	呼び出し音が 1 ～ 2 回鳴った後で着信コールに自動的に接続します。 自動応答は、スピーカフォンまたはヘッドセットのいずれかで機能します。	詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミネストレーションガイド』の「電話番号の設定」の章を参照してください。
自動ピックアップ	ユーザがコール ピックアップ、グループコール ピックアップ、およびその他のグループコール ピックアップをワンタッチで使用できるようにします。	詳細については、次の箇所を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミネストレーションガイド』の「ピックアップ グループの設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「コール ピックアップおよびグループコール ピックアップ」の章

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定参照先
割り込み	<p>ユーザが共有回線上の非プライベートコールに参加できるようにします。割り込み機能には、C 割り込みと割り込みがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • C 割り込みでは、ユーザはコールに追加され、コールが会議に切り替えられます。他の参加者が会議機能にアクセスできるようになります。 • 割り込みでは、ユーザはコールに追加されますが、コールが会議に切り替えられることはありません。 <p>割り込みでは、次の 2 つの会議モードがサポートされています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ターゲット デバイス (割り込み先の電話機) での組み込みの Conference Bridge。このモードでは、[割り込み] ソフトキーが使用されます。 • 共有された Conference Bridge。このモードでは、[C 割込] ソフトキーが使用されます。 	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章 • 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章 • 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「割り込みとプライバシー」の章
外線コールの外部転送禁止	<p>外線コールを別の外線番号へ転送することを禁止します。</p>	<p>詳細については、『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「External Call Transfer Restrictions の機能」の章を参照してください。</p>
ビジー ランプ フィールド (BLF) 短縮ダイヤル	<p>ユーザは、短縮ダイヤル ボタンに関連付けられた電話番号 (DN) のコール状態を監視できます。</p>	<p>詳細については、『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「プレゼンス」の章を参照してください。</p>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定参照先
コールの表示制限	コールに関与している通話相手に応じて、発信している回線または接続されている回線のどちらの情報を表示するかを決定します。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「ルートプランの概要」の章 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「Call Display Restrictions 機能」の章
コール転送	ユーザが着信コールを別の番号にリダイレクトできるようにします。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「電話番号の設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章
コールパーク	コールをいったんパーク（一時的に保存）し、その後で Cisco Unified CallManager システムの別の電話機を使用してそのコールを取得できるようにします。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「コールパーク」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「コールパーク」の章

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定参照先
コール ピックアップ	同じピックアップグループ内の他の電話機が呼び出されているときに、それを自分の電話機に転送します。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「ピックアップグループの設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「コール ピックアップ」の章
コール待機	電話中に新しい着信コールの呼び出し音が鳴っていることを知らせます（応答することもできます）。着信コール情報が電話機の LCD スクリーンに表示されます。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章
発信者 ID	電話番号、氏名など発信者の識別情報を電話機の LCD スクリーンに表示します。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「ルートプランの概要」の章 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「Call Display Restrictions 機能」の章

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定参照先
Cisco Call Back	ビジューまたは通話不能だった相手が通話可能になったときに、ユーザに対して呼び出し音を鳴らしてメッセージを表示します。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド』の「Cisco Call Back」の章
Cisco IP Manager Assistant (Cisco IPMA)	コール ルーティング サービスの提供、マネージャ用の電話機能の強化、主にアシスタントが使用するデスクトップ インターフェイスの提供により、マネージャとアシスタントの共同作業の効率を向上することができます。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーション ガイド』の「Cisco IPMA Configuration Wizard」の章 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「Cisco IP Manager Assistant」の章 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド』の「プロキシ回線サポートのある Cisco IP Manager Assistant」および「共有回線サポートのある Cisco IP Manager Assistant」の章

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定参照先
クライアントマターコード (CMC)	ユーザは、コールが特定のクライアントマターに関連するように指定できます。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「クライアントマターコード」の章 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「Client Matter Codes と Forced Authorization Codes」の章
会議	ユーザが各参加者にコールし、複数の相手と同時に会話できるようにします。会議機能には、会議、参加、C 割り込み、およびミーティングがあります。	<p>詳細については、『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。</p>
設定可能なコール転送の表示	コールの転送時に電話機に表示される情報を指定できます。この情報には、発信者の名前、電話番号、転送先の番号、および最初にダイヤルされた番号が含まれます。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章
直接転送	ユーザが 2 つのコールを相互に接続できるようにします (ユーザの回線には残りません)。	<p>詳細については、『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。</p>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定参照先
エクステンション モビリティ サービス	<p>電話機のエクステンション モビリティ サービスにログインして、共有 Cisco Unified IP Phone に一時的に電話番号とユーザ プロファイルを割り当てることができるようにします。</p> <p>エクステンション モビリティは、ユーザが社内のさまざまな場所から作業する場合や、同僚と作業空間を共有している場合に役に立ちます。</p>	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド』の「Cisco Unified CallManager エクステンション モビリティ」の章 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「Cisco Unified CallManager エクステンション モビリティ機能および電話機へのログイン機能」の章
ファースト ダイアル サービス	<p>ファースト ダイアル コードを入力してコールを発信できるようにします。ファースト ダイアル コードは、電話番号または個人アドレス帳のエントリに割り当てることができます（この表の「サービス」を参照）。</p>	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーション ガイド』の「Cisco Unified IP Phone サービスの設定」の章 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「Cisco Unified IP Phone サービス」の章
Forced Authorization Code (FAC)	<p>特定のユーザが発信できるコールの種類を制御します。</p>	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド』の「Client Matter Codes と Forced Authorization Codes」の章

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定参照先
グループ コール ピックアップ	グループ ピックアップ コードを使用して、他のグループの電話機で呼び出し音が鳴っているコールに応答できるようにします。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「ピックアップ グループの設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「コール ピックアップ」の章
保留	接続されたコールの状態をアクティブから保留にできるようにします。	この機能は、保留音 (Music-on-Hold) を使用する場合を除いて、設定する必要はありません。詳細については、この表内の「保留音」を参照してください。
即時転送	着信コールをボイス メッセージ システムに直接転送できるようにします。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「即時転送」の章
参加	1 回線上にある 2 つ以上のコールに参加して電話会議を開催し、回線上に留まることができます。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> P.5-20 の「ソフトキー テンプレートの設定」 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定参照先
迷惑呼の発信者 ID (MCID)	ユーザが受信した不審なコールについてシステム管理者に通知できるようにします。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「Malicious Call Identification」の章
ミーティング	ユーザがミーティングを開催できるようにします。ミーティングでは、他の参加者は指定の時刻に指定の番号に電話をかけます。	<p>詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「ミーティング番号/パターンの設定」の章を参照してください。</p>
メッセージ受信インジケータ	受話器のランプで、1つまたは複数の新しいボイスメッセージが届いていることを示します。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「メッセージ受信の設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「ボイスメールの Cisco Unified CallManager への接続性」の章
Multilevel Precedence and Preemption (MLPP)	電話システム内のコールに優先順位を付けられるようにします。この機能は、ユーザが緊急または重要なコールを発信および受信しなければならないような環境で作業している場合に使用します。	<p>詳細については、『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「Multilevel Precedence and Preemption」の章を参照してください。</p>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定参照先
保留音	発信者が保留になっている間、音楽を再生します。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Music On Hold オーディオソースの設定」および「Music On Hold サーバの設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「保留音」の章 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「Music On Hold」の章
オンフック コール転送	[転送] ソフトキーを 1 回押してオンフックにするだけで、コールを転送できるようにします。	<p>詳細については、『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。</p>
他のグループ ピックアップ	<p>ユーザのグループに関連付けられた他のグループの電話機で呼び出し音が鳴っているコールに応答できるようにします。</p> <p>(この表の「コールピックアップ」および「グループコールピックアップ」も参照。)</p>	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「ピックアップグループの設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「コールピックアップ」の章
プレゼンス対応ディレクトリ	ユーザは、コールログ、短縮ダイヤル、および社内ディレクトリに一覧された別の電話番号 (DN) のコール状態を監視できます。DN の BLF にコール状態が表示されます。	<p>詳細については、『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「プレゼンス」の章を参照してください。</p>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定参照先
プライバシー	回線を共有するユーザ間で、ユーザをコールに追加したり、他のユーザのコールに関する情報を電話機の LCD スクリーンに表示したりできないようにします。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「割り込みとプライバシー」の章
Quality Reporting Tool (QRT)	電話機の [品質] ソフトキーを使用して、ユーザが問題のあるコールに関する情報を送信できるようにします。QRT とユーザとの相互対話の必要量に応じて、2つのユーザモードのどちらかに対して QRT を設定できます。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「Quality Report Tool」の章
リダイヤル	ボタンを押すと最後にダイヤルした電話番号にコールできるようにします。	この機能は設定する必要はありません。
呼び出し音の設定	電話機に別のアクティブ コールが着信した場合に、回線で使用される呼び出し音のタイプを指定します。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「電話番号の設定」の章 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「カスタム電話呼び出し音」の章 P.6-3 の「カスタム呼び出し音の作成」

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定参照先
サービス	Cisco Unified CallManager の管理ページで、システム管理者が [IP Phone サービスの設定 (IP Phone Services Configuration)] メニューを使用して、ユーザが登録できる電話サービスのリストを定義および管理できるようにします。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone サービス」の章
サービス URL ボタン	電話機の [サービス] メニューを使用せずに、プログラマブル ボタンからサービスにアクセスできるようにします。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone サービス」の章
共有回線	複数の電話機で同じ電話番号を共有したり、電話番号を同僚と共有したりできるようにします。	<p>詳細については、『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。</p>
短縮ダイヤル	あらかじめ電話番号を保存しておき、電話をかけるときにはそれに対して指定した番号をダイヤルします。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定参照先
Time-of-Day ルーティング	指定されたテレフォニー機能へのアクセスを時間で制限します。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「時間帯の設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Time-of-Day ルーティング」の章
転送	ユーザが接続されたコールを自分の電話機から別の番号にリダイレクトできるようになります。	この機能は設定する必要はありません。
ビデオモード	システムに設定されたモードに応じて、ユーザはテレビ会議を表示するためのビデオ表示モードを選択できます。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> P.5-20 の「ソフトキー テンプレートの設定」 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Conference Bridge の設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「ビデオテレフォニーの概要」の章

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定参照先
ビデオサポート	電話機のビデオサポートを有効にします。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Conference Bridge の設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「ビデオテレフォニーの概要」の章 『Cisco VT Advantage アドミニストレーションガイド』の「Cisco VT Advantage の概要」の章
ボイスメッセージシステム	コールに応答がない場合、発信者がメッセージを残すことができますようにします。	<p>詳細については、次の箇所を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco ボイスメールポートの設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「ボイスメールの Cisco Unified CallManager への接続性」の章

社内ディレクトリとパーソナル ディレクトリの設定

Cisco Unified IP Phone 7961G/7961G-GE および 7941G/7941G-GE では、ユーザがディレクトリ ボタンを使用して、さまざまなディレクトリにアクセスできます。ディレクトリには次の2種類があります。

- 社内ディレクトリ：ユーザが社内従業員の電話番号を検索できます。
この機能を使用するには、システム管理者が社内ディレクトリを設定する必要があります。詳細については、[P.5-17](#)の「[社内ディレクトリの設定](#)」を参照してください。
- パーソナル ディレクトリ：ユーザが個人の電話番号を保存できます。
この機能を使用するには、パーソナル ディレクトリを設定するためのソフトウェアを、管理者がユーザに提供する必要があります。詳細については、[P.5-18](#)の「[パーソナル ディレクトリの設定](#)」を参照してください。

社内ディレクトリの設定

Cisco Unified CallManager では、LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) ディレクトリを使用して、Cisco Unified CallManager とインターフェイスする Cisco Unified CallManager アプリケーションのユーザに関する認証と許可の情報が保存されます。認証によって、システムにアクセスするためのユーザ権限が確立されます。一方、許可は、ユーザが使用許可を持つテレフォニー リソース（特定の内線番号など）を指定するものです。

これらの機能をインストールおよび設定するには、『*Cisco Customer Directory 設定用プラグインのインストールおよびその設定*』を参照してください。このマニュアルは、Cisco Unified CallManager を、Microsoft Active Directory および Netscape Directory Server と統合する設定プロセスについて説明しています。

LDAP ディレクトリの設定が完了すると、Cisco Unified IP Phone 7961G/7961G-GE および 7941G/7941G-GE の社内ディレクトリ サービスを使用して、社内ディレクトリ内のユーザを検索できます。

パーソナルディレクトリの設定

パーソナルディレクトリには、次の機能があります。

- 個人アドレス帳 (PAB)
- 個人ファーストダイヤル (ファーストダイヤル)
- アドレス帳同期ツール (TABSynch)

次の方法でパーソナルディレクトリの機能にアクセスできます。

- Web ブラウザ : Cisco Unified CallManager のユーザオプション Web ページから PAB およびファーストダイヤル機能にアクセスできます。
- Cisco Unified IP Phone : [ディレクトリ] > [パーソナルディレクトリ] を選択して、電話機から PAB およびファーストダイヤル機能にアクセスできます。
- Microsoft Windows アプリケーション : TABSynch ツールを使用して、PAB を Microsoft Outlook と同期させることができます。

Web ブラウザからパーソナルディレクトリを設定するには、ユーザはユーザオプション Web ページにアクセスする必要があります。また、ユーザに URL とログイン情報を提供する必要があります。

Microsoft Outlook と同期させるには、ユーザは管理者から提供された TABSynch ユーティリティをインストールする必要があります。ユーザに配布する TABSynch ソフトウェアを入手するには、Cisco Unified CallManager の管理ページで [アプリケーション] > [プラグイン] の順に選択し、**Cisco IP Phone Address Book Synchronizer** をクリックします。

電話ボタン テンプレートの変更

電話ボタン テンプレートを使用すると、機能を回線 / 短縮ダイヤル ボタンに割り当てられます。

テンプレートを変更してから電話機をネットワークに登録するのが、適切な方法です。この方法によって、登録時に Cisco Unified CallManager の管理ページから、カスタマイズ済みの電話ボタン テンプレート オプションにアクセスできます。

電話ボタン テンプレートを変更するには、Cisco Unified CallManager の管理ページで、[デバイス] > [デバイスの設定] > [電話ボタンテンプレート] の順に選択します。電話ボタン テンプレートを電話機に割り当てるには、Cisco Unified CallManager の管理ページの [電話の設定 (Phone Configuration)] ページの [電話ボタンテンプレート (Phone Button Template)] フィールドを使用します。詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』および『Cisco Unified CallManager システム ガイド』を参照してください。

Cisco Unified IP Phone 7961G/7961G-GE の標準テンプレートでは、ボタン 1 と 2 は回線用に、ボタン 3 ～ 6 は短縮ダイヤルとして、またはサービスへのアクセス用に使用します。電話機の他の機能（コールパーク、コール転送、リダイヤル、保留、復帰、ボイス メッセージ システム、会議など）を使用する場合は、Cisco Unified IP Phone 7961G/7961G-GE のソフトキーを使用します。

Cisco Unified IP Phone 7941G/7941G-GE の標準テンプレートでは、ボタン 1 と 2 は回線用に使用します。電話機の各機能（コールパーク、コール転送、リダイヤル、保留、復帰、ボイス メッセージ システム、会議など）を使用する場合は、Cisco Unified IP Phone 7941G/7941G-GE のソフトキーを使用します。

ソフトキー テンプレートの設定

Cisco Unified IP Phone 7961G/7961G-GE および 7941G/7941G-GE でサポートされているアプリケーションに関連付けるソフトキーは、Cisco Unified CallManager の管理ページを使用して管理できます。Cisco Unified CallManager では、2 種類のソフトキー テンプレート（標準と非標準）をサポートしています。標準ソフトキー テンプレートは、標準ユーザ、標準機能、標準 IPMA アシスタント、標準 IPMA マネージャ、および標準 IPMA 共有モード マネージャで構成されています。ソフトキーをサポートしているアプリケーションには、1 つまたは複数の標準のソフトキー テンプレートに関連付けることができます。標準のソフトキー テンプレートを変更するには、そのコピーを作成して別の名前を付け、コピーしたソフトキー テンプレートに変更を加えます。非標準のソフトキー テンプレートも変更できます。

ソフトキー テンプレートを設定するには、Cisco Unified CallManager の管理ページで、[デバイス] > [デバイスの設定] > [ソフトキー テンプレート] の順に選択します。ソフトキー テンプレートを電話機に割り当てるには、Cisco Unified CallManager の管理ページの [電話の設定 (Phone Configuration)] ページの [ソフトキーテンプレート (Softkey Template)] フィールドを使用します。詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』および『Cisco Unified CallManager システムガイド』を参照してください。

サービスの設定

Cisco Unified IP Phone 7961G/7961G-GE および 7941G/7941G-GE のサービス ボタンを使用することによって、ユーザは各種の Cisco Unified IP Phone サービスにアクセスできます。また、電話機のプログラマブル ボタンにサービスを割り当てることもできます（詳細については、『*Cisco Unified IP Phone 7961G/7961G-GE および 7941G/7941G-GE 電話ガイド*』を参照してください）。これらのサービスは、XML アプリケーションで構成されているので、電話機でテキストとグラフィックスを使用した対話型のコンテンツの表示が可能です。たとえば、地元の映画館の上映時間、株価情報、天気予報のようなサービスがあります。

ユーザがサービスにアクセスできるようにするには、次の作業を行っておく必要があります。

- Cisco Unified CallManager の管理ページを使用して、利用可能なサービスを設定します。
- ユーザは、Cisco Unified CallManager のユーザ オプション アプリケーションを使用して、サービスに登録します。この Web ベースのアプリケーションが提供する GUI（グラフィカルユーザインターフェイス）を使用すると、エンドユーザは IP Phone のアプリケーションの設定を一部行うことができます。

サービスを設定する前に、設定するサイトの URL アドレスをすべて入手し、ユーザが社内 IP テレフォニー ネットワークからこれらのサイトにアクセスできるかどうかを確認してください。

これらのサービスを設定するには、Cisco Unified CallManager の管理ページで、[デバイス] > [デバイスの設定] > [IP Phone サービス] の順に選択します。詳細については、『*Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド*』および『*Cisco Unified CallManager システムガイド*』を参照してください。

これらのサービスを設定した後、ユーザが Cisco Unified CallManager のユーザ オプション Web ページにアクセスできるかどうかを確認してください。このページでは、ユーザは設定済みのサービスを選択し、登録することができます。システム管理者がエンドユーザに提供する必要がある情報については、[P.A-4](#) の「サービスへの登録方法と電話機能の設定方法」を参照してください。



(注)

エクステンション モビリティ サービスをユーザ用に設定するには、『*Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド*』を参照してください。

Cisco Unified CallManager へのユーザの追加

Cisco Unified CallManager にユーザを追加すると、ユーザに関する情報を表示および保持することができます。また、各ユーザは次のタスクを実行できるようになります。

- Cisco Unified IP Phone から、社内ディレクトリやその他のカスタマイズされたディレクトリにアクセスする。
- パーソナルディレクトリを作成する。
- 短縮ダイヤル番号とコール転送番号を設定する。
- Cisco Unified IP Phone からアクセスできるサービスに登録する。

次のいずれかの方法を使用して、Cisco Unified CallManager にユーザを追加できます。

- ユーザを個別に追加するには、Cisco Unified CallManager の管理ページを使用し、[ユーザ管理] > [エンドユーザ] の順に選択します。

ユーザの追加の詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。ユーザ情報の詳細については、『Cisco Unified CallManager システムガイド』を参照してください。

- ユーザを一括して追加するには、Bulk Administration Tool を使用します。この方法では、すべてのユーザに対して同じデフォルトパスワードを設定することもできます。

詳細については、『Cisco Unified CallManager Bulk Administration ガイド』を参照してください。

ユーザ オプション Web ページの管理

ユーザ オプション Web ページから、ユーザは電話機のいくつかの機能と設定をカスタマイズおよび制御することができます。ユーザ オプション Web ページの詳細については、『Cisco Unified IP Phone 7961G/7961G-GE および 7941G/7941G-GE 電話ガイド』を参照してください。

ユーザへのユーザ オプション Web ページに対するアクセス権限の付与

ユーザがユーザ オプション Web ページにアクセスできるようにするには、システム管理者は Cisco Unified CallManager の管理ページを使用してユーザをエンドユーザとして設定する必要があります。また、適切な電話機をユーザに関連付ける必要があります。これらの手順を実行するには、Cisco Unified CallManager の管理ページから [ユーザ管理] > [エンドユーザ] の順に選択します。

詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「エンドユーザの設定」の項を参照してください。

ユーザ オプション Web ページに表示されるオプションの指定

デフォルトでは、ユーザ オプション Web ページのすべてのオプションが表示されます。ただし、次の2つのオプションはデフォルトでは表示されません。

- Show Ring Settings
- Show Line Text Label Settings

Cisco Unified CallManager の管理ページのエンタープライズパラメータの設定値を使用して、ユーザ オプション Web ページに表示するオプションを制御できます。



(注)

この設定は、社内のすべてのユーザ オプション Web ページに適用されます。

ユーザ オプション Web ページに表示するオプションを指定するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Cisco Unified CallManager の管理ページで、[システム] > [エンタープライズ パラメータ] を選択します。

[エンタープライズパラメータ設定 (Enterprise Parameters Configuration)] ページが表示されます。

ステップ 2 CCMUser Parameters エリアで、パラメータの [パラメータ値 (Parameter Value)] ドロップダウン リストから次のいずれかの値を選択して、パラメータをユーザ オプション Web ページに表示するかどうかを指定します。

True: オプションはユーザ オプション Web ページに表示されます (デフォルト)。

False : オプションはユーザ オプション Web ページに表示されません。
